

佐賀市5歳児健康診査 (集団健診)について

佐賀市 こども未来部 こども健康課
保健師 萩原 里美

目次

1. 佐賀市の概況
2. 5歳児健診開始までの経緯
3. 5歳児健診の概要
4. 健診の実際
5. 健診後のフォローアップ体制
6. スムーズな就学へ
7. 5歳児健診(5月～7月)の実施状況と課題

I-① 佐賀市の概況

人口	225,700 人(令和6年度末)
出生数	1,391 人(令和6年度)
高齢化率	29.6 %(令和6年度末)
合計特殊出生率	1.45 (令和5年)



古湯温泉 める湯でリラックス



佐賀インターナショナルバルーンフェスタ
2025. 10. 30～11. 3開催



Ⅰ-② 佐賀市の概況

《医療機関・施設等》

小児科医・小児神経科医：佐賀大学医学部附属病院
佐賀県医療センター好生館
国立病院機構佐賀病院
佐賀整肢学園こども発達医療センター
小児科医療機関 17施設(R7.5.1現在)

児童発達支援事業所：56か所(R7.4.1現在)

教育・保育施設数：153施設(R7.4.1現在)

2-① 5歳児健診開始までの経緯

令和7年 こども家庭センター設置！

母子保健と発達支援が1つの課になった！



こども未来部

子育て支援部

子育て総務課

保育幼稚園課

こども家庭課

保健福祉部

健康づくり課

健康企画係

健康推進係

保健予防一係

保健予防二係

母子保健係

予防接種係

障がい福祉課

障がい総務係

生活支援一係

生活支援二係

発達支援室

こども政策課

保育幼稚園課

こども家庭課



こども健康課

こども家庭センター

新規

5歳児健診

こどもの発達特性を
就学前の早期に把握



ひとり親支援係
子育て給付係

子育てコーディネート係

保健企画係

こども保健係

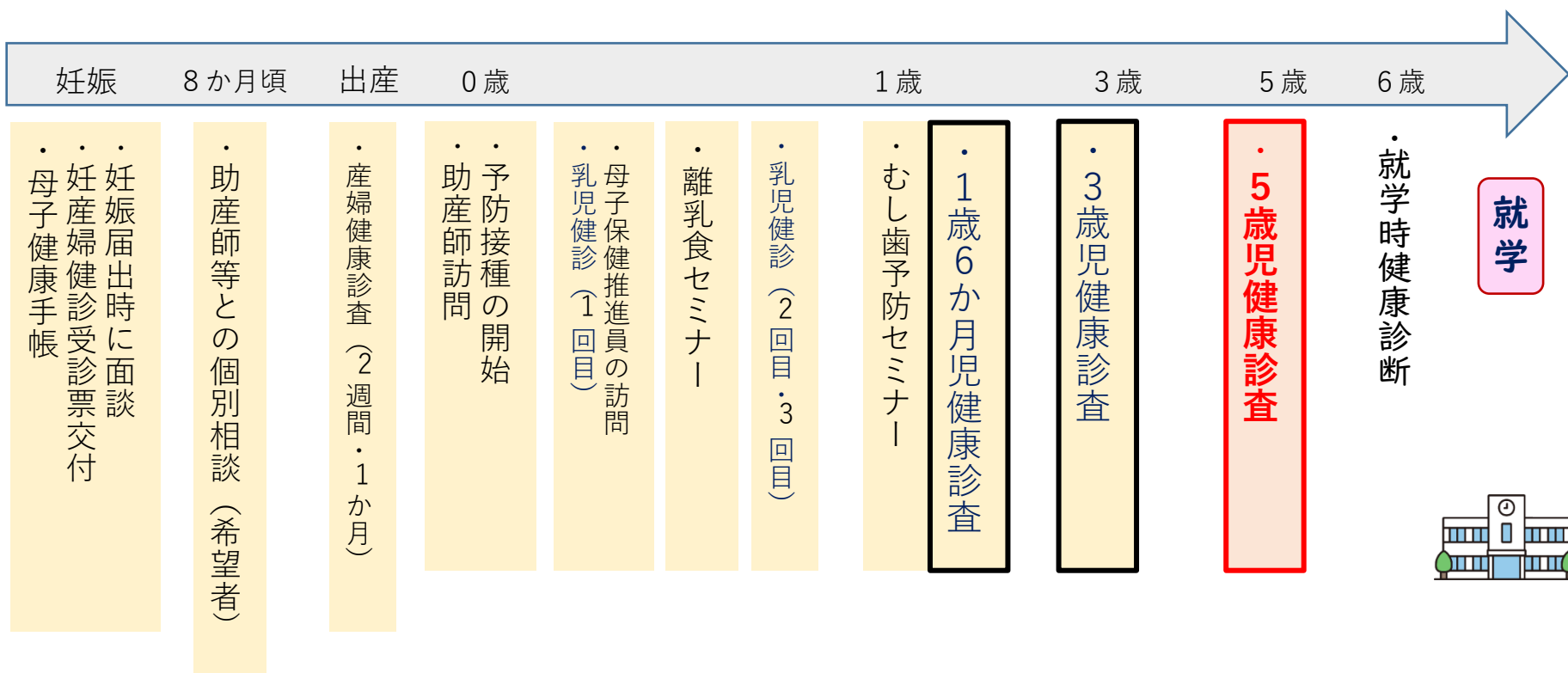
こども発達支援室



妊娠・出産、子育て期
まで切れ目なく支援

2-② 5歳児健診開始までの経緯

妊娠期から就学までの切れ目ない支援



2-③ 5歳児健診開始までの経緯

5歳児健診実施に向けての準備(令和6年度)

内部:検討、打合せ等

5歳児健診 課内決定	4月
重点施策事業 市長レク	5月
特別支援教育相談員 定例会議	5月～
課内で検討	随時
・予算要求	
・受診票検討	
・健診後フォロー検討	
・会場予約	
・研修会検討 等	
保育幼稚園課 打合せ	1月
学校教育課 打合せ	1月
学事課 打合せ	1月
公認心理師との打合せ	1月～
保育士との打合せ	1月～

外部:小児科医派遣協力等の相談

佐賀県小児科医会 会長	8月
佐賀市医師会事務局	9月
佐賀大学医学部	9月
佐賀整肢学園こども発達医療センター	9月
佐賀県医療センター好生館	10月
国立病院機構佐賀病院	10月
佐賀市医師会 理事、開業医	10～1月
歯科医師会長	12月
歯科衛生士会	12月
栄養士	12月

小児科医、関係組織の方々に直接説明し、意見をいただきながら協力を求めた。

2-④ 5歳児健診開始までの経緯

1歳6か月児、3歳児健診の体制見直し及び小児科医の確保

コロナ感染予防のため対象児を減らし回数を増やしていたが、見直しを行った

- ①全体回数の約8割を占める「ほほえみ館」では、**医師1人体制(対象児約30人)**から**2人体制(対象児約60人)**に全健診変更。→**健診回数減**
- ②佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、国立病院機構佐賀病院の派遣に追加して、**開業医に派遣依頼**。→**小児科医の確保**

健診の種類	R6回数	R7回数	会場
1歳6か月児健診	49	27	ほほえみ館（中部）、東与賀保健センター（南部）、三瀬診療所（北部）
3歳児健診	54	29	ほほえみ館（中部）、東与賀保健センター（南部）、三瀬診療所（北部）
5歳児健診(新)	—	29	ほほえみ館（中部）、東与賀保健センター（南部）
合計回数	103回	85回	減

医師2人体制に
(全体の約8割)

小児科医数（延） 103人 146人

開業医にも依頼

2-⑤ 5歳児健診開始までの経緯

健診従事者研修 及び 園へのお知らせ (令和6~7年度)

研修

		(講師)
職員保健師公認心理師研修	1月	佐賀女子短期大学 准教授 公認心理師
雇上げ保健師研修	3月	佐賀女子短期大学 准教授 公認心理師・保健師
医師研修及び説明会	3月	佐賀大学小児科学教授・保健師
従事職員研修(看護師、栄養士等)	4月	小児科医・子育てアドバイザー・保健師
保健師ロールプレイング研修	4月	保健師
職員保健師5歳児見学研修	4月	保育園実習

心掛けて欲しいこと

- ・5歳児健診は、こどもの困り感や家族の心配事を一緒に考え相談する場所。
- ・発達の遅れを指摘するのではなく、保護者の話を聴いて寄り添い、特性を理解してもらうことが大事。
そして、訓練につなげる。
- ・健診会場では、不安な保護者の気持ちに配慮し対応するよう心掛けましょう。

園へのお知らせ

健診実施のお知らせ通知 4月
ポスター掲示依頼 6月

3 5歳児健診の概要

令和7年5月 開始

目 的：言語の理解能力や社会性が高まり、発達障がいが認知される5歳児に、集団での健診を行い、「落ち着きがない」等のこどもの特性を発見し、適切な訓練につなげる。

対象児：令和7年度1,569人（R2.4月～R3.2月生まれ）

※5歳児1,706人（うちR3.3月生まれはR8.4月実施）

回 数：集団健診 29回

会 場：ほほえみ館 22回

医師2人体制、1回当たり対象児 約60人

東与賀保健センター 7回

医師1人体制、1回当たり対象児 約30人

受診率：91.2%（5～7月 計8回）

通知方法：2か月前に自宅へ個別通知

4-① 健診の実際

関与している職種と役割について

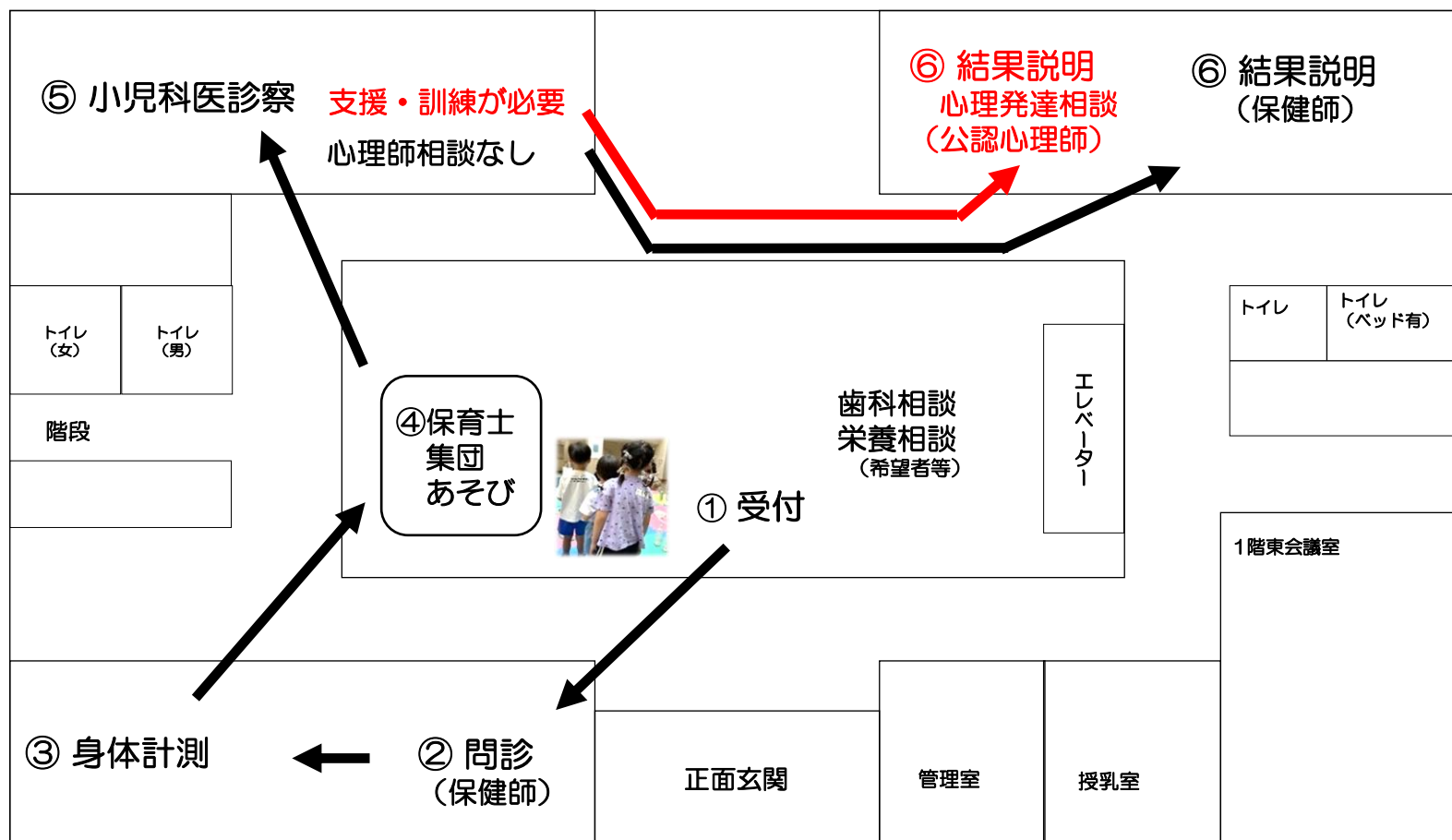
【対象児約60人 医師2人体制の場合（ほほえみ館）】

・小児科医師 2人	発達等の診察、説明
・保健師 15人	問診、結果説明
・公認心理師 3人	結果説明
・保育士 2人	集団遊び、観察
・歯科衛生士 2人	希望者歯科相談
・管理栄養士・栄養士 2人	希望者栄養相談
・看護師 5人	身体計測、誘導、診察介助
・事務 4人	番号札整理、書類回収、名簿確認、誘導
・母子保健推進員 1人	声掛け、きょうだい児見守り

4-② 健診の実際

健診会場の平面図

会場：ほほえみ館



4-③ 健診の実際

集団健診の流れ

●事前カンファレンス 情報共有・確認

- ・気になるこどもの過去の健診内容、保健師支援状況、園の情報など
- ・支援につなげたいこども
- ・予定人数や注意事項など



①受付



②問診(保健師)



ジャンケン、しりとり



片足立ち



交互にグーパー

4-④ 健診の実際

③身体計測



集団での立ち振る舞いを評価
(保育士・公認心理師・保健師等)

④保育士による集団遊び・観察



運動能力、バランス感覚



順番待てるかな



輪投げ、ケンケンパ

4-⑤ 健診の実際

⑤小児科医診察

事前に情報共有

支援につなげたいこども、気になる
こどもの過去の健診内容、保健師
支援状況、園の情報など



⑥結果説明

保健師



公認心理師（心理発達相談） ← 訓練が必要なこども



4-⑥ 健診の実際

歯科相談、栄養相談（希望者等）



●健診後カンファレンス（保健師）

- ・気になるこどもに専門相談の予約ができたか
- ・保健師の役割、指導内容の統一
- ・健診の流れの工夫、記録方法などの検討

※ 職種によって、現場の終了時間が違うため、職種ごとに担当保健師が気づきや助言内容の聞き取りを行っている。



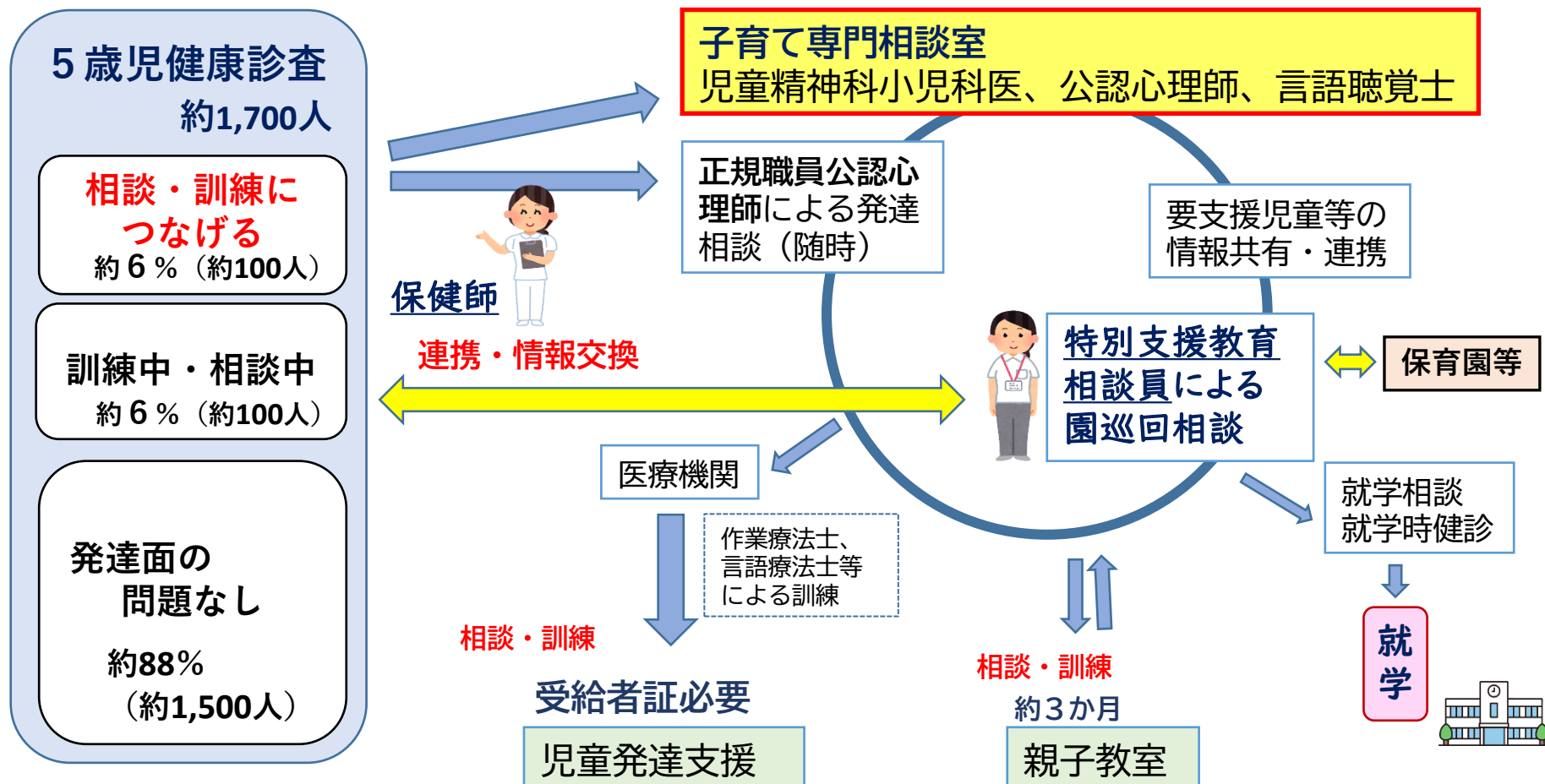
4-⑦ 健診の実際

《受診票》 国が示したもの

《保健師の問診》 5歳児健診での診察例(小枝達也先生)より

- | | | |
|------|---|---|
| 会 | 話 | なんていう保育園ですか？ 何組ですか？ ○組の先生の名前は何ですか？
保育所(幼稚園)のカレーはおいしいですか？ お母さんのカレーもおいしいですか？
保育所(幼稚園)とお母さんのカレーはどちらがおいしいですか？ |
| 構 | 音 | 発音の不明瞭さ |
| 概 | 念 | くつ(帽子・お箸・本・時計)って何するものかな？
ジャンケンをする しりとりをする |
| 行動制御 | | 「いいよ」と言うまで目をつむってください |
| 動作模倣 | | 右手を上げてください？(左手)
両腕を横に上げる 両腕を上にする 両腕を前に出す |
| 協調運動 | | 閉眼起立 片足立ち(右・左) 片足ケンケン(右・左) 指のタッピング(右・左)
前腕の回内・回外(右・左) 左右手の交互開閉 |

5-① 健診後のフォローアップ体制

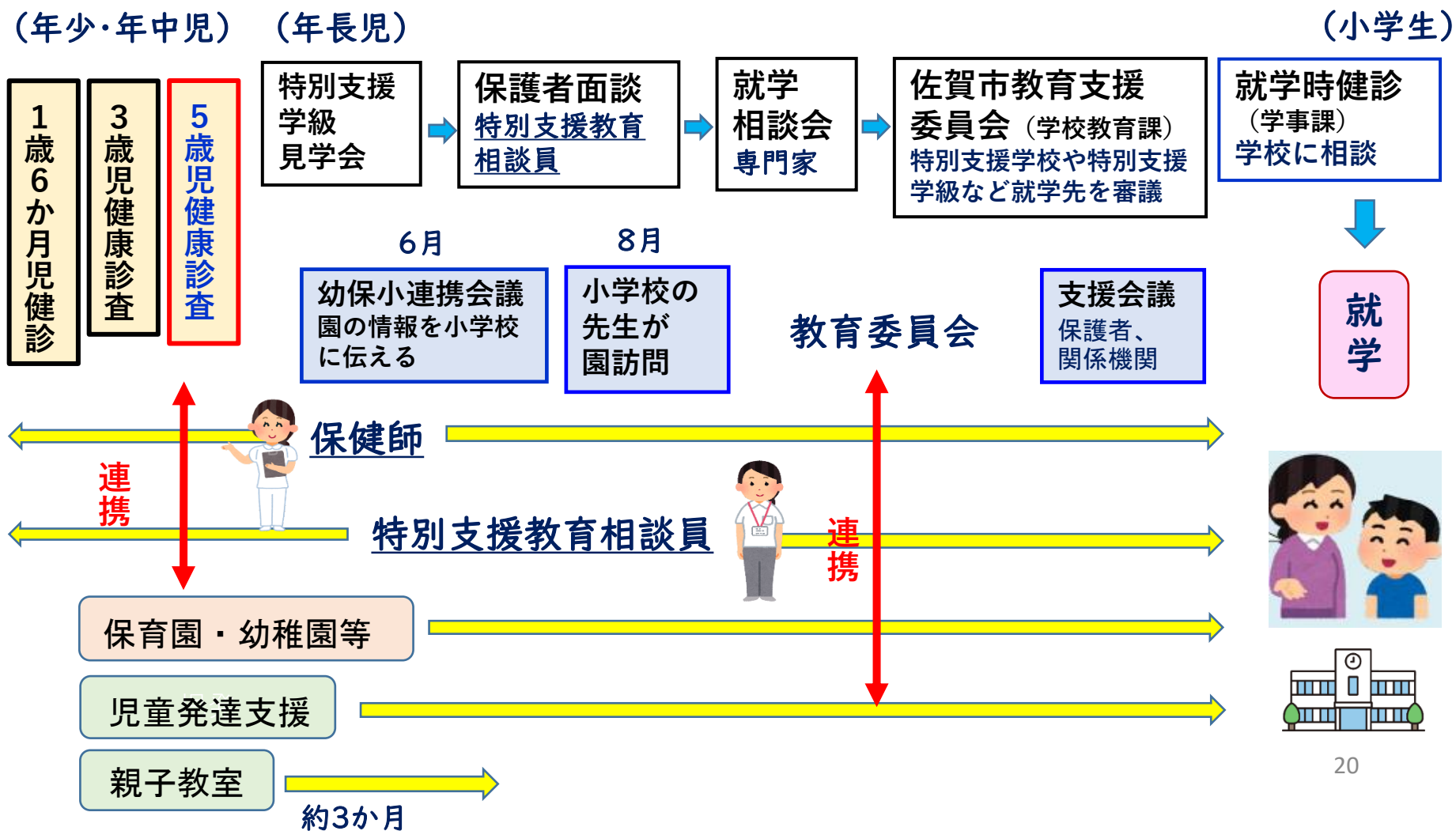


5-② 健診後のフォローアップ体制

相談枠拡充



6 スムーズな就学へ



7-① 5歳児健診(5月～7月)の実施状況と課題

《実施状況》

5月～7月(8回)実施

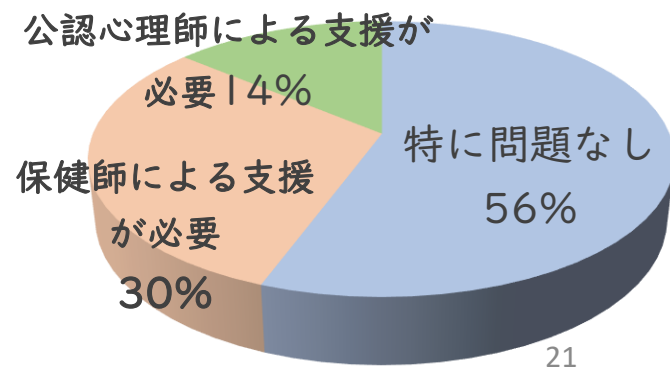
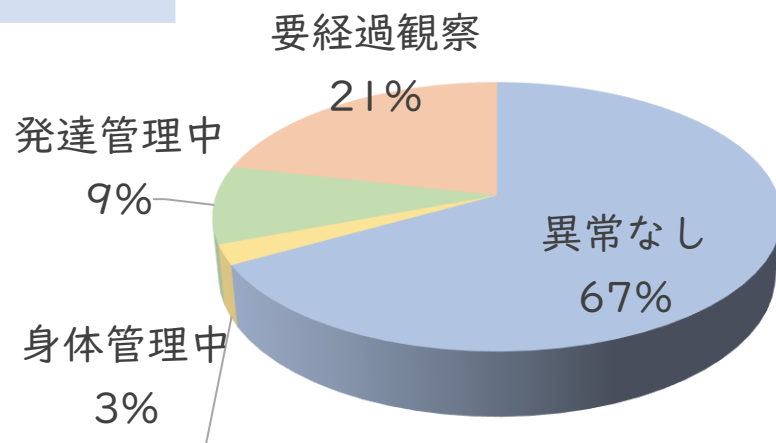
対象者	受診者	受診率
410	374	91.2%

【小児科診察判定】

異常なし	身体 管理中	発達 管理中	要経過 観察	要紹介
250	9	35	80	0
	44			

【子育て支援の必要性の判定】

特に問題なし	保健師による 支援が必要	公認心理師による 支援が必要
208	114	52



7-② 5歳児健診(5月～7月)の実施状況と課題

(効果)

- ・こどもの発達など日頃の心配事を相談する機会となっている。
- ・専門相談や訓練先の紹介により、保護者の就学に対する不安の軽減。
- ・1歳6か月児健診、3歳児健診時、専門相談を勧めたがつながらなかったこども等を必要な相談につなぐことができた。

全体の約1割 41人が相談予約（医師8人、公認心理師 22人、言語聴覚士11人）

(保護者の声)

5歳のタイミングで健診があると、学校に行く前に親も考えて行動することができる。

小学校に上がる前に成長を見るのに助かっています。



家族以外の人に子どものことを相談できるのはありがたいです。

7-③ 5歳児健診(5月～7月)の実施状況と課題

《課題》

- ・未受診者への対応

電話フォロー、再通知、保育園等との連携

- ・発達の特性を受け入れない保護者への対応

保護者の困りごとを傾聴し、特別支援教育相談員、保育園等と対応検討

- ・スタッフのスキルアップと健診当日の連携

研修参加や意見交換

- ・保健師、特別支援教育相談員、保育園等、児童発達支援事業所、教育委員会、小学校(支援学級・通級担当)、かかりつけ医との連携

特別支援教育相談員、保育園等との連携強化、教育委員会との連携方法の検討



佐賀海苔



佐賀牛

